



院長のこぼ

西部総合病院・院長の犬飼です。当院は地域に密着したケアミックス型病院を目指しております。訪問リハビリも将に地域に貢献できる大切な1事業として実践しております。リハビリテーションは社会復帰とも云われ、リハビリによる身体機能の回復は皆様の社会復帰に繋がられ、気持ちも明るくなることでしょう。眼は心の窓と云われますが、身体機能もまた心の窓ではないでしょうか。当院の訪問リハビリチームが皆様に“心の幸せ”をもたらすものと確信しております。 西部総合病院 院長 犬飼 敏彦

看護部長のこぼ

看護部の長谷川です。3年前に旅立った母は脳梗塞の後遺症で片麻痺・失語症になりました。その母の楽しみは言語療法の時間でした。言語聴覚士さんは母の言葉を一生懸命聞いてくれ、カラオケが好きだった母に歌うことを教えてくれました。日ごろ言葉はほとんどでないのに歌詩はすらすら出るから不思議です。歌っている母はとても嬉しそうでした。桜咲くこの季節、母と歌いながら公園の桜を見に行ったことを少し寂しく思い出します。

西部総合病院 長谷川 啓子



長谷川
看護部長

チーム訪リハ 集合イラスト



犬飼
院長



関山
医師

理学療法士
山本



大友
医師



作業療法士
鯉沼



理学療法士
峯口



言語聴覚士
杉田



理学療法士
大竹



理学療法士
杉山



イラスト提供
訪リハ
利用者
69名



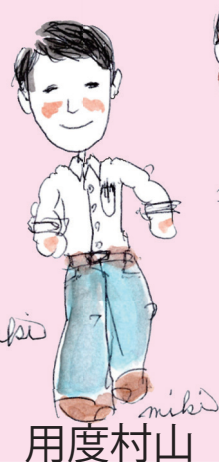
作業療法士
近森



理学療法士
蛭沼



理学療法士
澤田



用度村山



事務
石川

【できた！！報告会特別編】

～訪問リハビリテーション会議はどんなことをするの??～

西部総合病院の訪問リハビリでは3ヶ月に1度、ご本人、ご家族、当院の担当医師、リハビリスタッフ、ケアマネジャーなどが参加して、ご自宅または当院でリハビリ会議を開催しています。ケアプランの目標をもとに設定したリハビリの目標が達成されているかどうか、達成状況によってリハビリを継続するか、終了するかをリハビリ会議の度に検討して決定していきます。担当医を中心に個別に会議をすることで共通意識を持ち、1人1人に合った目標や方針を決めていきます。リハビリの目標は千差万別で、能力を維持したい、お風呂に入れる様になりたい、ご飯を座って食べれようになりたい、一人でバスで出かけたい、趣味ができるようになりたいなど様々です。担当リハビリスタッフが目標の達成を目指し、リハビリプログラムを考え、環境を整えるなどしてリハビリを進めていきます。



維持したい、お風呂に入れる様になりたい、ご飯を座って食べれようになりたい、一人でバスで出かけたい、趣味ができるようになりたいなど様々です。担当リハビリスタッフが目標の達成を目指し、リハビリプログラムを考え、環境を整えるなどしてリハビリを進めていきます。

ご自宅でのリハビリテーション会議の様子

D r 「最近の調子はどうですか？」

本人「痛いということはないです」

家族「歌の発表会で歌を歌ってきました。」

D r 「生活も安定していますし、今の状態が長く続けられるように頑張ってください。」

ご家族のコメント

リハビリ会議が開催されるまでは、ただリハビリを行うという状況でしたが、リハビリ会議が開始されてからは、どういう状況でリハビリを行っているか、又、進捗状況も家族が理解できる又、Dr. に質問等も出来、家族も安心してリハビリの内容を理解してリハビリを行っていただける良い会議です。



【できた！！報告会】

訪リハ卒業後の目標達成

～インタビュー～

No.6

～【できた！！報告会】インタビュー No.0 の続き～

日大にいた時の目標は仕事復帰。西部に来てからは…家に帰る為のリハビリをやって頂いていたのでその私は目標を失いました。実際両手と右膝の痺れと痛みで日常の生活さえ厳しい現実でもありました。それが手のリハビリをして頂きながら合間に精神的なアドバイスもして頂き自分らしさ（私らしさ）を引き出してくれる心のリハビリも受けながら私は温泉と言う目標を作り今回温泉に行って来られました。紅葉はもう落ちていましたが仕事に病気にと5年ぶりかの温泉はお肌すべすべでとても気持ちが良かったです。また先生の教えを私の生活の中でいかせる様にまた私と同じ様にリハビリを頑張っていってほしい同志に絆を繋げたい。

次はあなたの番ですよ…と。

また私も先生の教えを忘れずに次の目標に向かって歩いて行こうと思っています。リハビリの成果を出す為にまた絆を繋げる為に自分らしさを求めて次は何をしようかな。

卒業生寄稿



【できた！！報告会】

片手でもできるパソコン教室

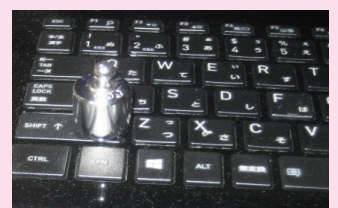
～インタビュー～

No.7

～ 分銅を使ったキーボード入力の工夫 ～

今回はキーボードに関する工夫です。私は左半身麻痺のため、左手が不自由です。ただ、Windowsのパソコンを使っていると、3個以上のキーを押さなければならぬこともあります。右手だけでなんとか指が届く範囲のことありますが、ShiftキーやCtrlキー、Altキーなどを一緒に押さなければならぬ場合、非常に困ります。

そこで、指で押す代わりに重りで代用する工夫をしました。前もって重りを先ほどのキーに乗せておき、ほかのキーは右手で入力します。重りとしてはてんびん秤用の分銅が入手できたので使ってみました。重さはキーボードの構造にもよりますが、50gから100gくらいが適当です。精度は問題にならないので、外国製の安いものでもOKです。それより底面が平らでほかのキーの方へはみ出さない方が肝心です。釣り道具を持っている方は、海釣り用の胴付き仕掛けに使う釣り鐘型の重りが応用できるかもしれません。



キーボードでの分銅の活用

【作成者】 西部総合病院 訪問リハビリテーション 作業療法士 近森

チーム訪リハ新メンバー紹介



澤田賢士

さわだ けん

○出身地

埼玉県春日部市

○好きな事 (チーム・音楽など)

サカナクション (歌手)、お笑い

○前はどこで何をしていたか?

春日部市の病院で急性期のリハビリをしていました。

○訪リハでしたいこと

利用者様の「できる」を一つでも二つでも増やしていけるようなリハビリを行いたいです。

○特技 モノマネ

○一言 明るく元気に仕事をしたいと思っていますのでよろしくお願いします。



山本恵

やまもとけい

○出身地

埼玉県

○好きな事 (チーム・音楽など)

旅行に行く

○前はどこで何をしていたか?

西部病院の院内リハビリ

○訪リハでしたいこと

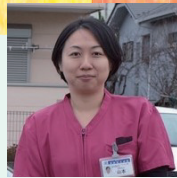
利用者さんと四季を感じる

○訪リハで苦勞したこと

車の運転。特に駐車場!?

○一言

これからもよろしくお願いします。



大竹明子

おおたけあきこ

○出身地

埼玉県

○好きな事 (チーム・音楽など)

福岡ソフトバンクホークス

○前はどこで何をしていたか?

西部病院で回復期リハビリをしていました。

○訪リハでしたいこと

患者様のニーズに合ったリハビリ

○訪リハで苦勞したこと

連携の取り方

○一言

訪問リハビリはまだ半年と経験が浅いですが、日々精進して頑張ります。



【報リハギャラリー】 訪問リハビリ中の写真 (ホームページにも掲載中)

『テーマ』

桜



【報リハとは?】

西部総合病院訪問リハビリテーション通信～みんなで造る広報誌～『報リハ』は、日々利用者さんやそのご家族が取り組んでいる事、興味がある事、悩んでいる事、リハビリに求めている事などを何でも、みんなで共有することで、在宅生活をより『明るく』『楽しく』送れるように多くの『できた!!』が集まるように盛り上げていければと思います。



西部総合病院



聖光会グループ

医療法人聖仁会



西部在宅ケア
センター

〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保884
電話 048-854-1111 FAX 048-855-3285

〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保830-1
電話 048-854-1188 FAX 048-840-3688